

平成26年度事務事業評価

◎基本情報

事務事業名		旧鳥居記念博物館改修事業		担当部署	企画総務部 企画課(室)
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市 根拠となる計画・法令
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始 平成 24年度 終期 ~平成27年度
政策(中項目)	1	安心 危機 総合計画体系上の位置づけ			
(小項目)	1	災害に負けないまちづくり推進			
施策	1	災害に負けないまちづくり推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 旧鳥居 事業の対象となる人、ものなどの種類を選択し、詳細を記入。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域住民の便を旨とする旧博物館が耐震改修された状態 事業対象をどのような状態にするのが目標かを記入。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧鳥居記念博物館</td> <td colspan="5">事業による成果の具体的な目標値を記入。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位	旧鳥居記念博物館	事業による成果の具体的な目標値を記入。					
指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位										
旧鳥居記念博物館	事業による成果の具体的な目標値を記入。															

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	3月に実施設計は完成。耐震改修工事にかかる予算要求を行った。 また、関係機関等と協議を重ねるとともに地元に対する説明会を行い詳細な利用計画の策定を進める。 平成25年度に実施した内容を記入。
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	
指標名		24年度実績   25年度実績   26年度目標   27年度目標   28年度目標   単位
活動指標	1 地元説明会の開催回数 2 実施した事業の活動量を示す指標	事業の対象者数やイベント回数など活動量を示す値を記入。
成果指標	旧鳥居記念博物館耐震 対象にどのような効果があつたかを示す指標	成果指標と同じ指標が入っています。
目標達成率(実績/目標)		-   -   -   -   %

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)	2,140	4,757	204,059	0	0	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	一般財源	240	4,757	17,059	0	0	
	事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)	0	0	0	0	0	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)						人
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	2,140	4,757	204,059	0	0	千円

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	関係機関等と協議を重ねるとともに、地元へ設計内容の説明を行う予定である。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;">平成26年度に実施済・予定の内容について記入。</div>
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 災害に負けないまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	平成25年度に実施したこと及び平成26年度に実施済・予定の内容を踏まえて、『必要性』、『有効性』、『効率性』の3つの観点で評価しています。当てはまるものにチェックを入れ、1項目2点の10点満点での評価です。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③		
<input checked="" type="checkbox"/>		④		
<input type="checkbox"/>		⑤		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	①		
	<input checked="" type="checkbox"/>	②		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成26年度以降に解決しなければならない課題がある場合に記入。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか	今後の方向性が『3. 現状維持』以外の場合、いつ・どのように改革するのかを記入。			